広報うちこ

UCHIKO 12

December 2016
vol.230

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

◉COVER
笑顔もキラキラ★
「町並み幻灯祭」

◉特集
内子町が歩いてきた道、
その道の先へ——

ぼくの夢　わたしの夢

石尾　玲温（れおん）くん　大瀬小学校６年（川登）

お父さんのような かっこいい電気工事士になりたい

夢は電気工事士になることです。お父さんの背中に憧れて同じ仕事がしたいと思いました。はしごで高いところまで上って、配線工事をしている後ろ姿は、特にかっこいいです。お父さんの手伝いをしたときに、普段は優しいお父さんが、真剣な表情で道具の使い方などを教えてくれました。力仕事が多くて、暑いときはとても大変だと思いました。

僕は小学４年生のときから空手を習っています。サンドバッグに蹴りや突きをして、いい音がするととても気持ちいいです。今は、年に１回ある空手の昇級審査に合格することが１番の目標です。空手を始めてから腕や足の力が強くなりました。電気工事士になったときにもきっと役立てられると思います。これからも練習を頑張って体力をつけて、お父さんのようなかっこいい電気工事士になりたいです。

CONTENTS　目次　　UCHIKO vol.230　広報うちこ2016年12月号

2　ぼくの夢 わたしの夢／目次

3　特集　内子町が歩いてきた道、その道の先へ――

14　まちのニュース　東西狂言の競演／内子中学校職場体験学習　他

16　うちこ往来　臼杵三島神社秋季例大祭／松田丈志さんの水泳教室　他

18　フォトリポート「うちこわまつり」

20　みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!!　他

24　図書館へ行こう

25　ゆうてぃあ　Vol.188

26　町からのお知らせ　保育園・幼稚園の園児募集／年末年始のお知らせ　他

31　社協だより　Vol. 5

32　くらしの情報　神南荘の嘱託調理員の募集／第14回和紙創作展　他

34　健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医

36　住人十色

COVER
――表紙の写真――

◉11月12日、八日市護国地区町並保存地区などで開かれた「町並み幻灯祭」の写真です。

町並みの白壁にキラキラとした光の切り絵が映し出され、細い路地は光の回廊に姿を変えていました。はしゃぐ子どもたちが絵に触ろうとすると、子どもたちも絵の一部に――

素敵なイベントは内容は、特集の中でも紹介しています。ぜひご覧ください。

—特集—

内子町が歩いてきた道、その道の先へ——

町並保存会が立ち上がって40年——
人と人とのつながりを大切にし、
伝統や内子らしさを大切にし、
今の美しい町並みがあります。
その町並みの魅力の一つは、家と家の間の路地「せだわ」。
町並み保存の歩みは、細く、長く、美しい、
そんな「せだわ」の姿と重なります。
この先にどんな景色があるのか、
不安を感じながら、ワクワクしながら、歩んできました。
今回の特集では40年前の町並みと、今の町並みの姿から、
内子町における町並み保存の意味を改めて考えます。

写真：本芳我家住宅と大村家住宅の間のせだわ

40年前、古いものを残そうと思う人なんか、ほとんどいなかった。

「町並み保存なんか何になる」

約40年前に八日市護国地区で始まった町並み保存運動――その重要性が理解されるまでには、大変な苦労がありました。初代町並保存会長を務めた大川さんの話を聞きながら、当時の町並みの様子と保存の取り組みを振り返ります。

「こんなところ、残して何になる――」。保存会の初代会長を務めた大川泰助（たいすけ）さんが、当時を思い出しながら、ゆっくりと話し始めます。

内子町八日市護国地区で町並み保存運動が始まったのは、昭和40年代後半。町内在住の画家・井門敬二（けいじ）氏が、その保存を提唱したのが始まりでした。

大川さんは「商店街は元気だったけれど、ここでは商売しても、ぜんぜん売れんくらい廃れた通りやった。そんだけ経済状況が悪かったということ。町並み保存が始まる前は軒下に農機具をおいたり、壁が剥がれ落ちたりして、きれいにはほど遠いまちだった」と振り返ります。古いものは壊され、新しいものが次々とつくられていた当時の日本で、その波に乗れず、取り残された八日市護国地区――。「こんなところ、残して何になる」と大半の人が思っている時代に、大川さん自身も何も分からないまま、新たな取り組みが始まります。

妻籠の町並みを目指して

「役場の岡田文淑（ふみよし）さんに誘われて、妻籠（※）へ行ったのが運の尽き」と笑う大川さん。先進地を2回ほど視察したあと、保存会をつくる話になり「若い者がやらんと、いけまいが」と、初代会長に指名されました。

町並み保存という言葉自体が知られていない時代で、保存会設立当初は大変でした。「地元が盛り上がったのではなく、行政が主導した組織。役員は各行政区から2～3人を割り当てたので、使命感のある人ばかりではなかった」と話す大川さん。住民には誤解する人も多く、「町に財産がとられる」とか「今のうちに家を建て替えた方がい

2

1

1_町並み保存運動が始まった昭和40年代後半。まだ電線や看板などがあり、雑然としている　2_昭和50年代の護国。左上にコンクリート造の新築の内子中学校が見える　3_当時は壊れた壁をトタンで覆っていた

※妻籠 ― 長野県南木曽町の町並み。日本における町並み保存運動の発祥地

昭和30年代頃の護国地区の様子

い」などのうわさをよく耳にしたそうです。

「町並み保存に教科書はない。どうすれば妻籠のようになるか分からない。だったら自分たちにできることを、まずしよう」。そう考えた大川さんは、町長自身に説明会を開いてもらうなど、地元の理解を深めることや、行政と住民をつなぐことに力を注ぎました。

全力でぶつかった10年間

地域住民がまとまり始めたのは、広島大学の鈴木充（みつる）教授の調査報告書が完成した頃。価値のある町並みとの報告があり、機運が高まりました。多くのメディアに取り上げられ、専門家に高く評価されたことも運動を後押ししました。

保存会の設立から10年も会長を務めた大川さんは「家族にまで反対されたこともあったが、まちが良くなることを信じて最後までやってみたかった。住民と行政が力を合わせて、どうにか今日のような町並みになった。子どもたちが町並みをどうするかを、どうのこうのは言えない。でも私たちの頑張りに胸を張りたい」と語りました。

信じて進み始めた道。
「最後の最後まで、やってみろ」
そう言ってくれる人がいたから、
踏ん張って前に進めた――

八日市周辺町並保存会
（現八日市護国地区町並保存会）
初代会長　大川　泰助（たいすけ）さん

3

積み重ねて40年——
町並み保存の今。

八日市護国地区町並保存会
会長　丸山　昇（のぼる）さん

町並みを守ることは、暮らしを守ること。
いい地域にするためには苦労もある、
地域を思う皆さんの**心意気に感謝**したい——

八日市護国地区は昭和57年、全国で18番目となる「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。今では「まちづくり先進地」として全国的に知られ、国内外から観光客が訪れる県内有数の観光地となっています。

八日市周辺町並保存会が立ち上がってから、今年でちょうど40年——。現在は名称を八日市護国地区町並保存会と変え、精力的に活動を続けています。丸山昇会長に、町並み保存の今を聞きました。

保存運動は内子町の歴史

「内子町の歴史を語るときは、町並み保存運動は外せない。私たちは、それを誇りにすると同時に、この大切な歴史資源を守りながら、きちんと次の世代に渡さなければならない」と話す丸山さん。

今では町並み保存の意識が地域住民に浸透。日常的に通りの掃除をしたり、玄関前を花や緑で飾ったりする人が多くなりました。40年前には想像もできなかった美しい景観が、人々の目を楽しませています。丸山さんは「大変だけど、多少は地域のことや周りの人のことを思って動かないと、まちは良くならない。それはどこの地域でも同じ」と

町並みをどう思っているのか
ここで育った若者に聞きました

Interview①

大好きな町並み、離れても大切にしたい

門田さやかさん（28）

町並みが好きで、住んでいても不便さを感じたことはないです。周囲がきれいなので、散歩をしていても「ほっ」とします。亡くなった祖父も町並みが好きで、いつも家の前に座って、楽しそうに観光客や小学生たちとあいさつしたり、話したりしていました。

観月会やいもたきなど、町並みのイベントは、素敵な思い出です。準備をする皆さんには、いつも感謝しています。私は結婚して、４月には別の町に移り住みます。ここを離れるのは寂しいですが、いつまでも変わらないよう応援したいです。

1

2

3

1_浴衣で観月会を楽しむ門田さん　2_明治の婚礼に、家族で昔の町民に扮して参加した芳我さん
3_松山城の屋根の修復をする市兼さん

1、2_訪れる人への心配りが、町並みをきれいにする　3_町並みの宿。奥に誘われるような内観　4_地元の人にとっては、いつもの散歩道　5_縁側の座布団に座って談笑する観光客　6_5頁の写真の現況　7_多くの観光客が訪れるまちに――

力を込めます。

見えてきた課題

今の保存運動を支えるのは、ほとんどが70歳以上の人たちです。運動を始めた当初は、子どもたちが戻ることを期待していましたが、思ったほどの成果はありませんでした。丸山さんは「予測よりも空き家は増えていないが、若い人が住まないのは、建物の規制があるのも理由の一つ。守ることは大切だが、担い手がいなければ活動自体が続かない。どのような形がいいか、若者を交えて考える時期がきている」と危機感を募らせます。一方、「最近は若者の関心や動きが見られるようになった」と期待も――。

「商売のルールづくりも必要」と加える丸山さん。「みんなでつくってきた町並み。自分だけ儲ければいいという考えで、町並みの景観や観光客の気持ちを害するのはよくない。住む人も来る人も気持ちいいことが、必ず町全体のためになる――」。厳しく優しい眼差しで、町並みの将来を見据えます。

Interview③

町並みは思い出の場、そして大切な学びの場

市兼　正則（まさのり）さん（38）

小学生のときから、左官をしていた父の仕事を手伝っていました。自分も自然と父と同じ仕事をするように――。町並みや重要文化財の本芳我家を修理した経験などから、松山城の修復にも携わりました。小さい頃に遊んだ思い出の場が、自分たちの手でどんどんきれいになるのは不思議な感覚で、やりがいがあります。

左官は仕事が減り、若い人が学ぶ場がありません。町並み保存地区は歴史環境を伝えると同時に、職人を育てる場でもあります。この町並みの大切さを、私自身も若い人に伝えていきたいです。

Interview②

ふるさとの町並みは心の支え、そして誇り

芳我　祥子（しょうこ）さん（27）

自分のまちのことを話せる素晴らしさは、学生時代に内子町を離れてから気付きました。田舎だけど、古い町並みがある素敵なふるさとは、私の心の支えであり誇りでした。本当の日本人の心が、ここにはあると思います。

先日、町並みの明治の婚礼に参加して、楽しかったです。これからは、もっと地域のイベントに参加したいと思いました。小さい頃から町並みで育った私たちには、地域の皆さんの努力は伝わっています。内子町の子どもたちにも、町並みでの思い出をたくさんつくって、町並みを好きになってほしいです。

町並みに恋した若者にインタビュー①

都会が憧れる内子の町並み

山内　大輔（だいすけ）さん（＆馬場宏介（こうすけ）さん、白砂孝洋（たかひろ）さん）

友人の空き家探しを手伝っていて、見つけた物件に自分が一目惚れしてしまいました。以前から内子町にゲストハウスがないのが不思議だったので、ここならできるかもと直感――。東京の友人、馬場くんと白砂くんなどに声を掛けて、ゲストハウスを中心としたプロジェクトを進めています。

二人とも「東京ではなかなか出会えない素敵な空間。心が落ち着く」「一つ一つの暮らしを丁寧にしているのが実感できて、都会にない暮らし方に憧れる」と言っています。ここに活動拠点をつくり、東京と内子を行き来することで、自分たちの仕事への刺激や新しい発想につながることを期待しています。

地域おこし協力隊の活動の中で、小田地域の良さを多くの人に知ってもらうには、内子の町並みなどに拠点が必要と感じました。ゲストハウスでは「人と人とをつなぐ旅」を提案する予定です。ガイドブックにも載っていない内子町の魅力を発信して、内子を遊びつくす観光客をたくさん増やせるよう頑張ります。

4

1

2

3

1_プロジェクトの拠点となる森脇初子（はつこ）さんの家の前で井戸端会議　2_近くの喫茶店で打合せ　3_ゲストハウスの建築模型で具体的な計画を練る　4_左からグラフィックデザイナーの馬場さん、地域おこし協力隊の山内さん、建築士の白砂さん

1_小河卓也さんと小野翠さんの結婚式。約100年前に行われていた花嫁行列を再現　2_町並保存会のメンバーなどが昔の衣装に扮して花嫁行列を盛り上げる　3_木蝋資料館上芳我邸を会場にし、親族や住民、観光客の前で永遠の愛を誓う　4_町中で二人を祝福した

2

3

4

1

町並みに恋した若者にインタビュー②

特別な結婚式を、町並みで――

小野　翠（みどり）さん（&小河卓也（たくや）さん）

私も夫も内子町役場職員で、私は町並保存センターに勤務して５年目になります。ずっとお世話になっている町並保存会の皆さんに、感謝の気持ちを伝えたくて、11月５日に町並みで式を挙げました。

木蝋資料館上芳我邸の新しい使い方の提案をしながら、みんなで楽しめる式にしたかったので、100年前の婚礼の再現を提案しました。花婿が花嫁を実家に迎えに行く「嫁迎え」と、花嫁が婿家に向かう「花嫁行列」を行い、近所の住人などが行列を見に表へ出てくるという想定です。みんな積極的に協力してくれて、力の入った扮装（ふんそう）や演出で、想像以上に盛大な式にしてもらいました。両親は「あんな素晴らしい式は初めて」と感動していました。夫も「町並み以上に、大切なものを守っている人たち」と言っています。素敵なまちで仕事ができていると、私自身も改めて感じました。

私が思う町並みの魅力の一つは、住む人の温かさ。式を挙げて、今まで以上に町並みに住みたい気持ちが高まりました。ずっと守りたい暮らしと温かさです。

～ Another story of Special feature ～

優しい光が町並みを包んだ日

商店街と町並みをつないだ「町並み幻灯祭」

「わーっ、きれい」「すごいね」町並みを歩く人々から、感嘆の声が聞こえてきます――。

この日、11月12日は内子まちづくり商店街協同組合や八日市護国地区町並保存会などが共催した「第1回町並み幻灯祭～しっとり灯り道～」が開かれた日です。町並みの白壁に投影された雪の結晶や桜の花びら、きれいな紅葉などに子どもたちは大喜び。道行く人も自然と笑顔になっています。

商店街の笹祭りで25～27年に開かれた「光の切り絵」を町並みで行ったもので、笹祭りと同じく愛知県出身の光の切り絵作家・酒井敦美（あつみ）さんが協力してくれました。町並み保存地区の住民も積極的に協力。コンセントや敷地を貸してくれたり、通行制限を受け入れてくれたりと、多くの人の思いや優しさがつながって、こんな素敵なイベントになりました。

実行委員長の大西啓介（けいすけ）さんは「互いの強みを生かせば、こんな素晴らしいイベントになるのかと驚いた。これをきっかけに、また何か一緒に取り組めたらいいですね」と話しました。

1

2

3

【舞台の裏側】
1_プロジェクターなどを設置するため足場を組む商店街の有志　2_酒井さんの指揮で、設置箇所などを確認　3_実行委員長の大西啓介さんと、町並保存会長の丸山昇さんのツーショット

1_子どもたちが描いた行灯「夢灯り」が並ぶ会場に、酒井さんの作品「やさしいたね」とシンガーソングライターの池田綾子さんの温かい絵と音楽が流れる　2_空から降って来る光の模様を取ろうとする子どもたち　3_約1,500人が「町並み幻灯祭」を見に、町並みを訪れた　4_重要文化財の大村家住宅と本芳我家住宅も、きれいな光の絵に包まれた

町並保存会と商店街、大勢の笑顔と歓声――**みんなでつくった作品**が「町並み幻灯祭」です

八日市護国地区の町並みは、建築家を目指していた学生の頃から憧れていて、何度も足を運んだ場所――。こんな素敵な町並みで「光の切り絵」を輝かすことができて、私自身が感謝と喜びの気持ちでいっぱいです。

今回の催しが実現したのは、内子本町商店街の笹祭りで「光の切り絵」を3年間、実施していたから。「いつか町並みでしたい」という言葉を、実行委員長の大西さんが覚えていてくれて、「自分たちも町並みで見たい」と企画してくれました。

今回の「町並み幻灯祭」は、私が行う野外幻灯の中では最大の規模になりました。普段の倍くらいの作品数です。これまで手伝ってくれた商店街の人たちのサポートがあったので、挑戦することができました。

私の作品展は地域の人たちと一緒につくるものです。見てもらえるのもうれしいですが、展示に関わった人たちとの絆や経験が一番の喜びです。商店街と町並保存会が協力してイベントをしたのは、初めてのことだったと後で聞きました。図ったことではないけれど「今までになかった協力関係が自然にできた」と言われ、感激しました。みんなで協力した事例として、次のステップの何かのきっかけになればいいですね。

光の切り絵作家
酒井　敦美（あつみ）さん

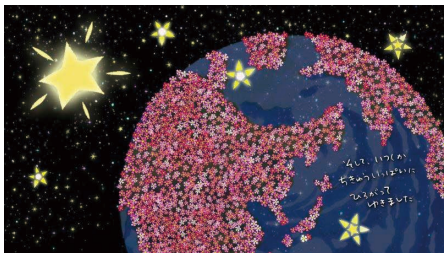
平成12年頃から四国の旅のスケッチや個展活動を始める。平成20年に高知県佐川町で初めて、舞台の影絵を野外に映す「野外幻灯展」を開始。現在は、光を当てると絵の表情が変わる「一画二驚」と「野外幻灯」を中心に、各地で展示会を行っている。

「やさしいたね～♪Happy Birthday♪～」

星になった友人を思う中で、生まれた物語。その友人は天に旅立つ2日前、最後になった電話でも「今日もあっちゃんの絵から、元気をもらったよ」と酒井さんを励ましていたそうです。酒井さんは「彼女の優しさに生きる力をもらった。今度は私が、その『やさしいたね』をみんなに届けたい――」、そんな思いを作品に込めました。

①羽が傷ついたチョウチョに自分の花びらをあげて助ける、やさしい花。次々に、自分の花びらで困っている子を助けます

②自分の歌がみんなに届いているか悩む小鳥には、「いつも元気をもらってるよ」と最後の花びらを渡します



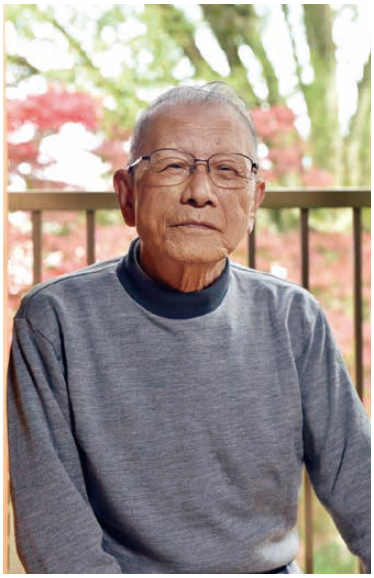
③花は「ありがとう」の種を大地に降り注ぎながら、空に昇って行きました。春になると、その種はたくさんの花を咲かせ、やがて地球いっぱいに広がって行きました。

まちづくりに終わりはない。細く、長く、美しく、

信じた道を、これからも――

40年間、一貫したまちづくりをしてきた八日市護国地区――
振り返ると、そこには素晴らしいまちの歩みが刻まれていました。
いつかバトンを渡す子どもたちのために、信じた道をこれからも進みます。

まちづくりはいつまでも続く 八日市護国だけで終わらせないで、 **各地域の「地域らしさ」を磨いてほしい――**



地域振興アドバイザー（元内子町役場職員、初代観光係長）
岡田　文淑（ふみよし）さん

高度経済成長による各地の都市化は、その地域の伝統や「らしさ」を壊し、現代化された画一的なまちを生みました。内子町の町並み保存運動は、地域の暮らしを見つめながら、生きた町並みを守るもの――。観光客のためのまちづくりではなく、地域に住む人のため、内子らしい暮らしを守るための運動ということを忘れてはいけない。単に建物を保存することではないのです。

石畳地区などの村並み保存も同じです。その地域の暮らしが魅力。私たちにとっては普通の農村のたたずまいが、都会の人にとっては、失ってしまった美しい営みや風景なのです。いまだに田舎コンプレックスを持っている人もいますが、田舎にこそ真の豊かさがあるのです。

企業誘致を最優先にしていた時代に、歴史がいかに大切な観光資源であるかを認識した内子町のまちづくりは、素晴らしいです。全国のどの観光地も、自然資源があるところ以外は歴史遺産の観光。歴史にまつわらない観光資源なんて存在しません。40年間この内子町が歩いてきた道を振り返ると、いい資源ができたなと誇りを持てます。

地域らしさを残すことで、他の地域と違う個性が生まれ、自分たちも訪れる人も美しいと思える「景」が生まれます。「町並み保存」という言葉は、八日市護国地区のためだけのものではありません。どの地域でも大切にしてほしい言葉です。その考え方が内子町全体に広がり、まちぐるみで地域の魅力を磨いてほしいと願います。

1

2

3

1_往時の隆盛を物語る「本芳我邸」　2_「当時は荒れ放題だった上芳我邸をみんなで掃除した」と岡田さん
3_石畳地区のみなさん。地域総出で屋根付き橋の屋根の葺き替えなどをしている

「きれいな町並み――」

今は当たり前のように、そう評価される八日市護国地区の町並みですが、そこには40年以上にわたり保存運動を続けてきた人々の思いや、地道な活動の積み重ねがあります。その運動は建物や景観を守るだけでなく、人々の暮らしや「内子らしさ」を守ってきました。そして村並み保存の活動に広がり、内子座を保存するという決定も後押ししました。若者や子どもたちが誇りに思う、内子町の「顔」にもなっています。

岡田さんの言葉をお借りすると、町並み保存とは「生活者にとってのアイデンティティ(存在証明)を守ること」。地域の存在を証明する個性がないと、どの地域も全く同じ。地域に魅力がないため、住民の連帯感や郷土意識もなくなり、観光という言葉さえもなくなるかもしれません。

このまちが美しいのは、歴史や文化を継承しようとする地域の人々の姿があるからです。そして、その美しい姿が、この「道」の先を創っていくのでしょう――。

内子座の歴史に残る貴重な舞台
東西の狂言師と子どもたちの共演

京都の大蔵流茂山家と東京の和泉流野村家が同じ舞台に立つ「東西狂言の競演」は10月29・30の両日、創建100周年を迎えた内子座で開かれました。

第1部では、3年間狂言を学んだきた茂山狂言クラブの子どもたちが「福部の神勤入」を披露しました。踊り念仏を唱えると、それに喜んだ福部の神が新酒を飲み謡い舞い納めるという、めでたい演目です。

第2部では内子町を題材にした新作狂言「かみ遊び」を上演。大蔵流と和泉流、地元の子どもたちが同じ舞台に立つ、初めての試みです。町の名産や名物、燈籠祭りや凧合戦などが登場する他、花道などを使った内子座だけの演出で、観客を沸かせました。茂山千三郎（せんざぶろう）さんは「これからの100年に向けた大挑戦。作品を作りながら、私自身も内子の素晴らしさを再確認した」と話しました。

1_新作狂言「かみ遊び」の一場面。野村万蔵（まんぞう）さんと茂山千三郎さんの手には燈籠とハゼの実　2_子どもたちの頑張りが光った「福部の神勤入」　3_茂山さんと野村さんが演目を解説。息の合った会話で、会場を笑わせた

地域に伝わる宝を次代に継承――
「内子町伝統芸能まつり」

「第5回内子町伝統芸能まつり」（内子町伝統文化継承団体連絡会主催）は11月20日、内子座で開かれました。

まず愛媛県と大分県の交流事業の一環で、由布市・庄内子供神楽が出演。速い太鼓の音に乗った勇壮な舞で、幕が上がりました。由布市内外で年間60回も公演する舞台は素晴らしく、来場者の目を釘付けにしていました。

同じく特別出演した宜野座村惣慶区の婦人会と青年会のメンバーは、旧盆の時期に踊る「エイサー」など、3つの演目を披露しました。

内子町からは6団体が出演。大久保獅子舞保存会が獅子舞やしゃぎり、初出演の立川三島神社御供相撲が奉納相撲などを披露し、地域に伝わる伝統芸能を通じて、交流を深めました。

1_軽快に舞い続ける庄内子供神楽の子どもたち
2_豪華な化粧まわしで登場した立川三島神社御供相撲

小田の隠れた魅力を探して走ろう
大人も遊べるサイクリングイベント

「愛媛サイクリングの日」の11月13日、愛媛県内の全市町でサイクリングイベントが開かれました。（同実行委員会主催）

内子町・小田地域では「スカベンジャーハントin内子の紅葉ルート」が行われ、町内外から65人が参加しました。

各グループが地図上に記された場所を探し、「三島神社にある巨木の名前を人文字で表す」など、遊び心がいっぱいの課題をクリアして、点数を競います。参加者は「自然がきれいで、道中も楽しめた」と笑顔で話していました。

課題の一つ、「三連鳥居の前でチュウ　チュウトレイン」に成功した皆さん

「法政大学自治体推薦首長交流会」
内子町出身の学生が活動報告

「法政大学自治体推薦首長交流会」が10月27、28の両日、内子自治センターで行われ、岩手県遠野市や鹿児島県伊佐市など9つの自治体と法政大学の関係者40人が参加しました。

この会は法政大学の推薦入試の対象となっている自治体の長が集まり、意見の交換や学生との交流を深めることを目的に毎年行われ、内子町では初めての開催になります。

会では各地のまちづくり事例報告や、内子町から法政大学に入学した学生の活動報告、現地視察などが行われました。

会の冒頭で稲本隆壽（たかとし）町長が内子町のまちづくりを紹介

未来の働く自分を想像しよう
中学生の「職場体験学習」

内子町内の各中学校は年1回、「職場体験学習」をしています。

内子中学校では2年生73人が11月16・17の両日、大洲市と内子町の28カ所の事業所に分かれて職場体験をしました。

そのうち、大西優太朗（ゆうたろう）さんと西優作（ゆうさく）さんが内子町役場の仕事を体験。広報紙の取材や編集作業に挑戦した他、木蝋資料館上芳我邸で資料整理などをしました。大西さんは「取材では、相手の目を見て話すよう心掛けたが、話ながらメモを取るのが難しかった」、西さんは「初めて一眼レフカメラを手にして緊張した。広報の人たちが、笑顔などを撮るために工夫しているのが、よく分かった」とそれぞれ感想を述べました。

編集ソフトの使い方を学びながら作業する、大西さんと西さん

僕たちが「ぼくの夢わたしの夢」（2頁）と「はじめてのバースデー」（21頁）を作りました。ぜひ見てください。

大西優太朗さん（左）と西優作さん

地域の伝統を絶やさぬために――学生と住民が力を合わせた秋祭り

愛媛大学法文学部と協力し、地域の伝統文化を残す取り組みをしている臼杵地区で10月30日、「臼杵三島神社秋季例大祭」が行われ、学生たちによる「獅子舞」と「おねり」が披露されました。10年以上も途絶えていた伝統芸能で、大学の協力を得た3年前から活動を再開しています。学生たちが夏に行った集落調査のパネル展示もあり、来場者は興味深そうに見学していました。

獅子舞とおねりを奉納した皆さん

満員御礼！地域に愛される劇団オーガンスが定期公演

劇団オーガンスの第18回定期公演「學問のススメ」が11月13日、内子座で上演されました。物語は文明開化の風が、片田舎の内子にも吹き始めた明治時代初期。脱藩浪人や外国人が住みついた村で、時代に翻弄（ほんろう）される住民の姿をコミカルに描いた作品です。脚本を手掛けた稲月道隆（みちたか）さんは「内子座で最高の演劇ができた。支えてくれた多くの皆さんのおかげ」と感謝の気持ちを述べました。

特別出演したＡＬＴのピーターさんも熱演（写真右側）

里山の自然と風景と味覚がいっぱい自分たちで作って楽しむ手作り市

山の手作り市「きておみや in 立山2016」は11月13日、下立山地区のログ立山周辺で開かれました。地元の食材や手作りにこだわったイベントで、来場者は自分でピザを焼いたり、餅をついて丸めたりして、できたてをおいしそうにほおばっていました。実行委員長の宮岡正博（まさひろ）さんは「地域の人たちの楽しみになっているので、無理をせず、１回でも長く開催したい」と話しました。

「よいしょ、よいしょ」の掛け声で餅をつく子どもたち

秋色に染まる会場で、さまざまな実りを披露「東自治センターまつり」

落ち葉が舞い散る内子東自治センターで11月20日、恒例の「東自治センターまつり」が開かれました。

老人会のクロッケー大会や自治会対抗で行う究極の玉入れ大会の他、「愛媛よさこい神舞（かむい）」の踊りや「雛太鼓」の演奏など、さまざまな催しがありました。石畳自治会の焼き芋や長田自治会のうどんなど、各自治会のバザーも人気で、終日多くの人でにぎわいました。

消防署のはしご車で会場を一望しよう

1_時速40㌔で走る車と衝突。車の上に乗り上げられるスタントマン　2_乳母車をおす歩行者とオートバイの接触事故。停車している車の死角になって、お互いが見えていなかった

大迫力の再現スタントで事故の怖さを高校生に伝える

交通事故を未然に防ごうと「自転車交通安全教室」（ＪＡ愛媛たいき農業協同組合主催）が11月25日、内子高校で開かれました。この教室は交通事故の再現をして、生徒に危険性を疑似体験させる「スケアードストレート」という教育手法で行われます。

まず大洲警察署の二宮幸仁（ゆきひと）署長が、「交通事故の怖さを肌で感じて、交通ルールを守ることの大切さを再確認してほしい」とあいさつ。自転車と車の衝突事故やトラックの内輪差による自転車巻き込み事故など、実際に起きた交通事故をスタントマンが再現しました。再現した後は、どうして事故が起きてしまったのか、どうすれば事故を防ぐことができたかなどを生徒たちに質問して、正しい自転車運転の方法などを教えていました。山本雄基（ゆうき）さん＝内子高校２年＝は、「迫力のある再現スタントで交通事故の怖さが伝わってきた。通学のときなど、しっかりと交通ルールを守って事故に遭わないようにしたい」と話しました。

水をとらえる感覚を教える松田さん（中央）

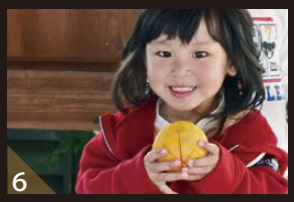
夢と一流の技術を子どもたちにオリンピックメダリストの水泳教室

競泳元日本代表・松田丈志（たけし）さんの水泳教室が11月20日、フィットネスクラブＲＹＵＯＷで開かれ、町内外の小・中学生50人が参加しました。松田さんは自身の練習法を紹介し、足や腕の上手な使い方を教えたほか「努力を重ねたら必ず成果がでる。夢を持ち続けて」と語りました。参加した松本麻衣（まい）さん＝内子中2＝は「今の自分に満足せず、上を目指したい」と目を輝かせました。

南予博の舞台となった各市町の長らが駆け付けた

南予地域のさらなる発展を願って「えひめいやしの南予博2016」が閉幕

「えひめいやしの南予博2016」（同実行委員会主催）の閉幕記念イベントが11月20日、宇和島市南予文化会館で開かれました。南予博の舞台となった南予の９市町と伊予市の住民らが集結。住民グループによる成果発表や有識者による討論会などが行われました。最後に、地域一丸となって南予の魅力発信を約束する「いやしの南予」を各市町の長らが宣言して、締めくくりました。



1_和太鼓集団「和達」が見事な演奏を披露　2_立川神楽の一場面　3_各会場では、芸術の秋を楽しめるさまざまな作品が展示された　4_内子中学校と内子高校の吹奏楽部が共演。練習を重ねた演奏と楽しい演出で、会場を笑顔にしていた　5_子どもたちに人気のターザンブランコ　6_大きな柿を手に喜ぶ女の子　7_「たらいうどんの早食い競争」。いろいろな食べ方で熱々のうどんに挑む　8_児童館と放課後児童クラブが作った「内子の宝」　9_45秒間の真剣勝負。柿の皮むき競争

うちこ「わ」まつり

Photo Report

フォトリポート

内子町各地の農業祭と文化祭をつなぐ「うちこわまつり」が11月3・6の両日、内子自治センターや石畳清流園など6カ所で開かれました。

2日間で約8200人が訪れ、各会場の郷土色豊かな食や芸能、芸術などを楽しみました。秋の実りと笑顔があふれた、うちこ「わ」まつりの様子を写真でお伝えします。

うちこ文化祭

内子町文化協会内子支部の会員などが338点の作品を出展。「町並みエコー」の合唱や吹奏楽部の演奏もあり、芸術の秋を満喫できる会場でした。（写真4、8）

10_怖いダイバンから必死に逃げる女の子　11_エアマットなど豪華景品が当たるお楽しみ抽選会　12_かわいい売り子さんがクッキー売りのお手伝い　13_的当てに成功して大喜び　14_石畳水車まつりを盛り上げた内子高校郷土芸能部に、大きな拍手が送られた

石畳水車まつり

そばや水車米の塩むすびなど、おいしい食べ物がいっぱい。釣り堀など、自然の中での遊びが多く、子どもたちも笑顔いっぱいでした。（写真5、14）

立川地区文化産業祭

立川神楽保存会が神楽の演目から「四天王の舞」などを披露した他、焼き栗や地鶏で作ったフランクフルトなど、地域の自慢の文化や食を堪能できました。（写真2、10）

大瀬農業祭柿まつり

大瀬地区の柿が主役の農業祭です。柿の種飛ばし大会や柿詰め放題の他、農産物のせり売りなど、地域の特産品を生かした催しで盛り上がりました。（写真6、9、12）

五十崎文化祭

多彩な芸や展示、バザーが魅力の文化祭。生け花などの体験コーナーがあり、ものづくりに夢中になっている親子連れの姿がありました。（写真1、13）

小田の郷ふるさとまつり

ポニー乗馬や魚のつかみ捕りなど、楽しい企画が盛りだくさんで、子どもたちは大喜び。終日、たくさんの人でにぎわっていました。（写真3、7、11）

FROM ME TO YOU

みんなでつないでリレーエッセイ

「秋祭り」

宮田　昌樹（まさき）さん（35）
＝中野＝

宮田さん（右から2人目）と、秋祭りで牛鬼を担いだ皆さん

夏が終わって秋になり、内子町でも各地で秋祭りが行われたと思います。松山のけんかみこしや新居浜の太鼓台のように、大きな祭りを見学するのも楽しいですが、私は地元で行われる、みこしや獅子舞や牛鬼がそれぞれの家を回るような秋祭りが好きです。

秋祭りには毎年、牛鬼で参加しています。さまざまな人に出会えるのでとても楽しいです。「よう来てくれたねえ」、「あんたはどこの子？あー、○○さん家の子かいな。大きくなったねえ」、「今年は野菜がたくさんできたんよ。いる人あったらこれ持っていき」など、ささいな世間話をしています。親たちに人気のあるダイバンは、泣きじゃくる子どもを抱っこしたり、追い掛けたりします。中には、親に了解を得て家の中まで追い掛けているダイバンもいて、その様子をみんなで笑いながら見ています。

できるだけ全ての家を回るので、最後の方は夜になり暗くなってしまいます。それでも、祭り提灯を家の軒先にともして、「今年はもう来んのかと思いよったよ」と言いながら待ってくれている家があります。本当にありがたく、今年も参加できてよかったなと思います。

最近、目に見えて人口が減ってきています。担ぎ手がいないため、みこしを出すのが難しい地区もあります。回る民家も減っていますが、人と人とのふれあいを実感できる貴重な田舎の秋祭りが、いつまでも続くように心から願っています。

▼次は、大久保　武将（たけまさ）さん＝上田渡＝にお願いします。

わが家の一皿
SPECIAL DISH

「ミネストローネ」

●作った人

徳田　美代子（みよこ）さん
＝内子７＝

●材料（５人分）

ニンニク2片、オリーブ油大さじ1/2、コンソメ1個、塩・黒こしょう少々
Ⓐウインナー3本／ニンジン100グラム／玉ネギ150グラム Ⓑキャベツ125グラム／ジャガイモ130グラム Ⓒカットトマト缶175グラム／水750mℓ／ローリエ1枚

●作り方

①ニンニクはみじん切り、ⒶⒷは1センチ角に切る②鍋にオリーブ油を引き、ニンニクの香りが出るまで炒める③ウインナー、ニンジン、玉ネギの順番に炒め、塩をひとつまみ加えてさらに炒める④玉ネギがしんなりしたらⒸを加えて煮込む⑤沸騰したらコンソメを加え弱火にし、約30分煮込み、塩・黒こしょうで味を調える。

HAPPY BIRTHDAY

おめでとう　はじめてのバースデー

12月に満１歳になる子どもたちを紹介します。

土肥　奏也（そうや）くん　富長

いつまでも仲良し兄弟でいてね。

山上　栞穂（しほ）ちゃん　柿原

お姉ちゃんが大好きです。たくさん遊ぼうね！

河野　沙羅（さら）ちゃん　松尾

５人兄弟の末っ子♡　甘えん坊♡　みんなの癒し姫♡

向居　優里（ゆうり）くん　松尾

にいに・ねぇね大好き♡　いっぱい遊んでね!!

仙波　美咲（みさき）ちゃん　川中１

白いご飯が大好き！　家族で食べるご飯が、いつも楽しみです♡

平野　夢翔（ゆめか）ちゃん　内子17

お散歩大好き。早く歩けるようになってお姉ちゃんと遊びたいな。

城戸　蒼惟（そうい）くん　内子20

お姉ちゃん大好き！　いっぱい遊ぼうね♡

内子町子育て支援センターからのお知らせ

親子で一緒にリースを作ろう

内子町子育て支援センターのグリーンカーテンだったゴーヤのつるを使って、リースを作りませんか。

参加は無料で、どなたでも参加できます。ぜひ、お申込みください。

●**日時**　12月８日（木）
午前10時～11時

●**場所**　内子町子育て支援センター

●**定員**　10組（先着順）

●**申込期限**　12月７日（水）

※電話でお申し込みください。

【申込・問い合わせ】

内子町子育て支援センター

☎０８９３（４４）６３５５

昨年のリース作りの様子

デザインの力で地域に貢献したい

久保永美沙（みさ）さん（28）中川西

「セセラギいもたきビアガーデン」などのかわいらしいチラシや、今年の小田燈籠祭りの絵燈籠を描いた久保永美沙さんをご紹介します。

久保永さんは大阪の専門学校で３年間、写真や版画などを学びました。地元に戻り創作活動をしていたところ、地域おこし協力隊の納堂さんの目に留まり、チラシなどのデザインをするようになりました。久保永さんは「21 歳のときに絵燈籠を描いたのがきっかけで、本格的にデザインの勉強をするようになった。きっかけをくれた地域に、絵で貢献できることがうれしい」と喜びます。今年描いた燈籠の絵は、登貴姫をイメージ。小田うどんやオダメイドも一緒に描いていて「かわいい」と好評でした。「絵燈籠はライトアップしたときをイメージしながら描くのが難しい。１カ月掛かったけれど、みんな喜んでくれて良かった」と楽しそうに言います。

「田舎の何気ない日常に面白さを感じるので、小田には魅力がいっぱい。いつかその魅力を集めてフリーペーパーにしたい」と笑顔を見せてくれました。

久保永さんが描いた絵燈籠

TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

内子町に両親が来ました

ピーターさんの両親を迎えて親睦会

FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

外国語指導助手
ピーター・コール
Peter Cole

10月に両親が私を訪ねて内子町に来てくれました。内子町の皆さんは、両親をとても温かく迎えてくれました。本当にありがとうございました。

両親の滞在中に、初めて内子町に来たときのことを思い出しました。アイルランドを出発する前、本やインターネットで内子町のことをたくさん調べていました。実際に来てみると知らないことがたくさんあったので、驚いたのを覚えています。

内子町の皆さんはおいしい食べ物をくれたり、地域の行事などに誘ってくれたりしました。いろいろな経験をすることができて、とてもうれしいです。

両親にもできるだけ多くのことを体験してほしいと思い、私は毎日、両親に日本の食べ物を買って帰りました。寿司、団子、餅、サツマイモなどいろいろな物を食べてもらいました。両親はとても喜んでいましたが、短い期間に初めての物をたくさん食べたので、少し戸惑っていました。日本食ばかり食べていたので、アイルランドの食べ物が恋しくなっていたみたいです。アイルランドから持ってきていた紅茶をうれしそうに飲んでいました。

両親は帰国後に、「最初の食事はマッシュポテトとソーセージにしようかな」とメールを送ってくれました。でもまずは食事の前に、たっぷりと寝て旅行の疲れを癒すそうです。

SAVE THE EARTH

くらしのエコロジー

ウォームビズで電気代を節約しよう

環境省は地球温暖化対策の一つとして、ウォームビズを呼び掛けています。

ウォームビズは暖房の設定温度を20度未満にし、暖かい服装で過ごそうという取り組みです。二酸化炭素の削減だけでなく、家庭の電気代も節約できます。体調などに気を付けて無理のない範囲で取り組みましょう。

《首、手首、足首を温めよう》

太い血管が通っている首などを重点的に温めることで、体全体が温まります。

《温かい食事で体の芯から温めよう》

鍋などの食事は、体も室内も温まるのでウォームビズに効果的です。また根菜類、特にしょうがは体を内側から温める効果があります。

《窓やドアから空気が逃げないようにしよう》

暖房を効率的に使い、無駄なエネルギー使用量を抑えるには、温めた部屋の空気を外に出さないことが重要です。厚手のカーテンや二重サッシ、断熱シートなどで熱を逃がさない工夫をしましょう。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893（44）6159

ウォームビズのポスター

VOICE

まちの声

ごみの収集場所について

□通勤途中などにある収集場所へごみを出すことはできますか。（50代女性）

■住んでいる地区の決められた収集場所へ出してください。地区外から出されたごみが、分別されていないなどの理由で、未回収になる事例が増えています。未回収のごみは、地区の人が分別して処理をしています。トラブルの原因になるので、ルールをきちんと守りましょう。

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893（44）6159

Q 広報クイズ

「広報うちこ」12月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

①「英語で○○●○3」を12月17日に開催。サンタクロース姿のイーチェンさんと楽しく英語で遊びましょう。
②地域に伝わる宝を次代に継承――「内子町○○○●○○○○まつり」
③新年の訪れをともに祝う「●○○交歓会」を1月4日に開きます。
④石尾玲温くんの将来の夢は、「○●○○○○○」。
⑤新着図書紹介。「●○○○○まほうのかばん」。
⑥松田丈志さんの「○●○○教室」が11月20日に開かれました。

応募方法：
ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛て先：〒795−0392
内子町役場　総務課　広報・広聴係
締め切り：12月28日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」2月号

●10月号当選者の皆さん

答え「くりひろい」　正解数45
- 森　博道さん（内子19第2）
- 松田　幸子さん（宿茂）
- 宮内　通子さん（立川中央）
- 徳岡　芳子さん（論田3）
- 稲田　街婚さん（和田）
- 久保　正一さん（豊秋町）
- 久保　美子さん（川上）
- 滝川　一馬さん（伊予市）
- 中村　青空さん（広島県）
- 小沼　径子さん（東京都）

図書館へ行こう

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子３４２７番地
☎ 0893（44）4198
http://www.town.uchiko.ehime.jp/library/
開館時間：
午前９時30分～午後６時
休館日：月曜日・月末整理日・年末年始

●創作絵本を募集します

▽**応募資格**　内子町在住者

▽**応募規定**　30ページ以内の明るく健全な作品（未発表の作品に限ります。共著可）

※作品は返却しません。著作権などは主催者に帰属します。

▽**応募方法**　表紙に題名と作者名を記入し、図書館にある応募票を添えて提出

▽**応募期限**　29年1月31日（火）

●上杉誠一さんに感謝

昨年度から、内子町読書活動研究集会に支援していただいている上杉誠一（せいいち）さんが10月29日、図書情報館に来館しました。

上杉さんから「子どもたちが故郷を誇りに思う大人に成長することを期待している」との言葉をいただきました。しっかりと受け止め、今後も読書活動に励みます。上杉さん、ありがとうございました。

●12月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家⑥》

▽児玉梨恵絵手紙教室

［おはなし会］

▽**土曜日・午後2時～**

12月3日　ゆりかご
10日　むしこまど
17日　むしこまど
24日　どんぐり会

［文学講座］

▽12月10日（土）午前10時～

▽**内容**　「和泉式部日記」を読む

▽**講師**　村山洋子（ようこ）さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書

ストロベリーライフ
荻原浩／著

イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志半ばのデザイナーの仕事はどうする……。恵介36歳、今、人生の岐路に立つ

漱石の愛した絵はがき
中島国彦／編

漱石が大切に残していた絵はがきの数々。文人との交友、読者からの感想……。岩波書店所蔵の約百点をオールカラーで精選収録

その靴、痛くないですか？
西村泰紀／著

靴選びの専門家が、正確な足のサイズの測り方や、足に合わない靴を選ばないためのノウハウ、足に合わない靴によるトラブルなどを解説する

♥児童図書

笑われたくない！
手嶋ひろ美／作

手足が不自由な結花は、出し物で二人羽織をすることに。上手にするつもりが、笑わせるためにへんな食べ方をしろと言われてしまい……

かあさんのまほうのかばん
よこみちけいこ／文

母さんのかばんからは、妹のよだれかけ、おむつ、なんでも出てくる。でも、僕のズボンは出なかった。「妹の魔法のかばんなんや」としょんぼりしていると……

ただしいもちかたの絵本
ＷＩＬＬこども知育研究所／編・著

子どものうちに身に付ければ、大人になっても苦労しない。箸、フォーク、鉛筆などの正しい持ち方29項目を、イラストでやさしく紹介

UTIA Uchiko Town International Association
内子町国際交流協会の情報誌「ゆうてぃあ」

事務局　内子分庁３階
☎ 0893（44）2114
fax0893（44）6137
http://utia.jp/

VOL.188

第22回青少年海外派遣団
みんな元気に帰国

派遣生14人がドイツ・ローテンブルク市、フィンランド・ヘルシンキでの10日間の研修を終え、無事内子町に帰ってきました。

ローテンブルク市では、ホームステイを通じてドイツの日常生活に触れた他、警察署の見学や、同市の町並み保存に関する勉強、パン屋でのクリスマスクッキーづくりなどを行いました。また今回は、初めてファブラボ工房を訪問。世界に一つだけのTシャツと名札作りに挑戦しました。

フィンランドでは、現地の中高等学校で、家庭科の授業に参加しました。英語で会話をしながら、一緒にマフィンを作って食べました。

派遣生の充実した活動は、下記の研修報告会で詳しくお伝えします。

1

3

2

4

5

1_ローテンブルク市内で記念撮影　2_ドイツのスーパーで買い物体験　3_ファブラボ工房で特別な名札作り　4_ホストファミリーとの歓迎交流会　5_フィンランドの学校では、マフィン作りの授業に参加

研修報告会のお知らせ

第22回青少年海外派遣事業の報告会を行います。派遣生たちが成果や感想を発表しますので、ぜひお越しください。

●**日時**　12月20日（火）　午後6時30分～
●**場所**　内子自治センター

英語であそぼう３　―　クリスマスパーティ　―

みんなでクリスマスを楽しみましょう。

●**日時**　12月17日（土）午前10時～正午
●**場所**　五十崎自治センター
●**参加費**　500円と300円分のプレゼントをご持参ください。
●**対象**　小学１～６年生
●**定員**　20人
●**申込期限**　12月12日（月）

※この事業は毎月１回、開催する予定です。１月以降は、各学校を通じてお知らせします。

29年度　保育園・幼稚園
園児募集

29年度の保育園・幼稚園の入園児を次のとおり募集します。希望される保護者は、期日までにお申し込みください。すでに在園している園児も、引き続き入園を希望する場合は、手続きが必要です。

幼稚園

【問い合わせ】
内子町教育委員会（内子分庁舎内）学校教育課　学校教育係
☎0893（44）2124

●**募集幼稚園と対象区域**

園名	対象区域
内子幼稚園 ☎0893（44）2400	内子地区 五十崎地区
立川幼稚園 ☎0893（45）0134	
五十崎幼稚園 ☎0893（44）3158	
小田幼稚園 ☎0892（52）3419	小田地区

●**対象児童**　平成23年4月2日～26年4月1日生まれの子

●**授業料（月額）**
①生活保護法による被保護世帯
0円
②町民税取得割額が0円の世帯
3000円
①②以外の世帯　5000円
※この他に給食費、教材費、PTA会費などが必要です。

●**申込方法**　入園を希望する幼稚園に「入園願」と「支給認定申請書」を提出してください。
※各用紙は各幼稚園・内子町教育委員会にあります。

●**申込期限**　12月22日（木）
※用紙は各受付場所にあります。
※(2)の内容を証する添付書類や住民税課税（非課税）証明書などが必要な場合があります。

保育園

【問い合わせ】
保健福祉課　児童福祉係
☎0893（44）6154

●**募集保育園／定員／開園時間**
▽内子保育園／80人／午前7時～午後7時
▽五城保育園／60人／午前7時30分～午後6時30分
▽大瀬保育園／45人／午前7時30分～午後6時30分
▽こばと保育園／70人／午前7時30分～午後6時30分
▽くるみ保育園／80人／午前7時～午後6時
▽石畳へき地保育園／30人／午前8時～午後4時
※石畳へき地保育園は、保護者が地区内に居住している場合のみ入園可

●**申込期限**　12月28日（水）

●**受付場所**　保健福祉課、内子総合窓口センター（内子分庁内）、小田支所、各保育園

●**提出書類**
(1)入園申込書・支給認定申請書
(2)就労証明書（または就労状況確認書、申立書のいずれか）
※(1)は児童1人につき1枚。

●**入園の資格**　就労・求職や出産、病気などの事情で保護者が保育できない場合

●**その他**　民営の保育園も、入園の手続き、保育料の決定・徴収は内子町が行います。

＼待ってるよー！／

くるみ保育園の園児たち

29年の年賀交歓会を開きます
新しい年明けをみんなで祝いませんか

新年の訪れをともに祝う年賀交歓会を開きます。内子町内に住む人はどなたでも参加できます。

●**日時**　29年1月4日（水）午前11時～

●**場所**　内子町共生館ホール

※新酒が出されますので、車での来場はご遠慮ください。

●**会費**　1000円

※当日、受付で集めます。

●**申込方法**　電話でお申し込みください。

●**申込期限**　12月12日（月）

●**主催**　内子町、内子町森林組合、愛媛たいき農業協同組合、えひめ中央農業協同組合、内子町商工会

【申込・問い合わせ】
総務課　庶務係
☎0893（44）6150

内子・五十崎地区の農家の皆さんへ
農業用廃プラスチックを回収します

農家で不用になったマルチやビニールシートなどの農業用廃プラスチックを回収します。搬出物はリサイクルしますので、この機会を利用して適正な処分にご協力ください。

●**回収日時**　12月13日（火）午前8時30分～11時30分

●**回収場所**　愛媛たいき農協五十崎支所駐車場

●**搬出方法**
1しめ当たり10～15キロ程度とし、次の種類別に分別してください。

・塩化ビニール
・ポリエチレンフィルム
・その他

●**注意事項**
▽規定の用紙に運搬する廃棄物の種類と量、運搬者の住所・氏名などを記載した書類を携帯して搬出してください。
▽運搬する車両に「廃棄物収集車」と表示してください。

【問い合わせ】
産業振興課　農村支援センター（内子分庁内）
☎0893（44）2199

人権コラム＊幸せへの道

ＤＶのない社会をつくろう

ドメスティック・バイオレンス（以下、ＤＶ）は配偶者や恋人など、親密な関係にある相手から振るわれる暴力のことです。身体的暴力だけでなく、精神的・性的・経済的暴力も含みます。常に暴力行為があるわけでなく、優しくなる時期があることが特徴です。ＤＶは女性の約30パーセントが経験しています。

《深刻な影響を与えるＤＶ》

ＤＶは身体面だけでなく、ＰＴＳＤ（心的外傷後ストレス障がい）やうつ病など精神面にも影響を及ぼすことがあります。またＤＶを目の当たりにした子どもは、攻撃的になったり引きこもりになったりするなど、行動面や人間関係に大きな影響を与える場合があります。

《ＤＶのない社会の実現のために》

ＤＶをなくすためにはパートナーとの良好な関係を築くことが基本です。相手の気持ちを大切にして、互いに助け合うことを普段から心掛けましょう。

平成13年にＤＶ防止法が施行されました。配偶者から身体的暴力を受けている人を発見した人は、ＤＶに関する相談窓口などに通報しなければなりません。発見した人は下記の連絡先に通報してください。男女が対等な立場で、互いに尊重し支え合って生きていける社会をつくっていきましょう。

●ＤＶを発見したときの連絡先
愛媛県福祉総合支援センター
☎０８９（９２７）３４９０
愛媛県男女共同参画センター
☎０８９（９２６）１６４４

【問い合わせ】
自治・学習課　生涯学習係（内子分庁内）
☎０８９３（４４）２１１４

「都市計画区域マスタープラン変更案」縦覧のお知らせ

愛媛県が定めた「内子都市計画区域マスタープラン」の変更案を縦覧できます。変更案に意見のある人は、縦覧期間内に意見書を提出してください。変更案は愛媛県のホームページでも確認できます。

●縦覧期間
12月6日(火)～12月20日(火)
8時30分～17時15分(土・日曜日・祝日を除く)

●縦覧場所
建設デザイン課、愛媛県都市計画課(県庁第2別館3階)

【意見書提出先・問い合わせ】
建設デザイン課
☎0893(44)6157
愛媛県都市計画課
☎089(912)2738
www.pref.ehime.jp/h40800/shinchaku/shinchakuh261127.html

高齢者の異変に気付いたら地域包括支援センターに連絡してください

内子町では高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者の見守り活動を行っています。

皆さんの地域に住んでいる高齢者の異変に気付いたときは、ご連絡ください。状況に応じて、安否確認や高齢者が適切な支援を受けられるように対応します。地域全体で高齢者を見守りましょう。

《こんな異変に気付いたら連絡を》
- 新聞や郵便物がたまっている
- 何日も洗濯物が干したままになっている
- 道に迷っている様子をよく見かける
- 家の中から高齢者を怒鳴る声が聞こえる

※高齢者ご本人やその家族からの相談も受け付けています。気軽にご相談ください。

【連絡先・問い合わせ】
保健福祉課　地域包括支援センター
☎0893(44)6154

ねんきんQ&A ～国民年金加入編④～

Q：会社を退職してから2カ月後に再就職する予定です。再就職するまでの間、国民年金に加入する必要はありますか。

A：加入が必要です。日本国内に住所を有する20歳以上60歳未満の人は、厚生年金保険や共済組合に加入している人を除いて国民年金に加入することになっています。再就職までの2カ月間は、第1号被保険者となりますので、退職後に住所地の市町村で加入の手続きをしてください。

ポイント解説

厚生年金保険や共済組合に加入している配偶者に扶養されている人は第3号被保険者です。配偶者が会社を退職したときは、第1号被保険者に変更となるので、夫妻ともに届け出が必要です。

Q：国民年金の加入手続きに必要なものはありますか。

A：国民年金の加入手続きには以下の書類が必要です。
- 年金手帳または基礎年金番号通知書
- 資格喪失日が確認できる書類(社会保険資格喪失証明書など)
- 本人確認書類
- 印鑑
- 委任状(本人または同一世帯以外の人が手続きする場合)

【問い合わせ】
○松山西年金事務所
☎089(925)5105
○住民課　国民年金係
☎0893(44)6152

年末年始の業務のおしらせ

町の施設は12月29日（木）～1月3日（火）まで休みとなります。

ただし一部の施設は休みが異なりますので、ご注意ください。

業務・施設／連絡先	12/26（月）	27（火）	28（水）	29（木）	30（金）	31（土）	1/1（日）	2（月）	3（火）	4（水）	5（木）	6（金）
届け出などの受付業務（※注） ○住民課　☎0893（44）6152 ○内子分庁　☎0893（44）2112 ○小田支所　☎0892（52）3111				休	休	休	休	休	休			
出納業務（支払・収納） 会計室　☎0893（44）6156				休	休	休	休	休	休			
町営バス・デマンドバス 総務課　☎0893（44）6150				休	休	休	休	休	休			
八日市・護国町並保存センター ☎0893（44）5212				休	休	休	休	休	休			
内子座 ☎0893（44）2840				休	休	休	休	休				
歴史民俗資料館 ☎0893（44）5220				休	休	休	休	休				
木蝋資料館「上芳我邸」 ☎0893（44）2771				休	休	休	休	休				
町並駐車場 ☎0893（44）5347					無料開放							
文化交流ヴィラ「高橋邸」 ☎0893（44）2354		休	休	休	休	休	休	休	休	休		
五十崎凧博物館 ☎0893（44）5200				休	休	休	休	休				
内子町ビジターセンター「A・runze」 ☎0893（44）3790				休	休	休	休	休				
内子町図書情報館 ☎0893（44）4198			休	休	休	休	休	休	休			
内子町クリーンセンター ☎0893（44）4574					午後休	休	休	休	休			

（※注）「死亡届」「婚姻届」など戸籍の届け出は日直・宿直が受け付けます。
（12月29日～1月3日は本庁のみ）

29年1月22日（日）内子町長選挙・投票日

29年2月5日任期満了による内子町長選挙を次のとおり行います。

●**投票日・開票日**　29年1月22日（日）

●**投票時間**　午前7時～午後8時

※第4、5、7、11、12、13、14、15投票所は午後7時まで

●**開票場所**　内子町民会館　大ホール

●**告示日**　29年1月17日（火）

●**有権者**

29年1月23日現在で満18歳以上の人で、28年10月16日以前から引き続き内子町に住んでいる（住民基本台帳に登録されている）人

●**期日前投票**

投票日当日に、仕事や病気、外出などで投票所に行けない人は、期日前投票を行うことができます。

▷期間　29年1月18日（水）～1月21日（土）

▷時間　午前8時30分～午後8時

▷場所　内子町民会館2階、内子分庁1階、内子町林業センター第1研修室

●**不在者投票**

一時的に町外へ出ていたり入院したりしている場合は不在者投票をすることができます。手続きが必要ですので、お早めに選挙管理委員会までお知らせください。

●**立候補届出に関する説明会**

▷日時　12月22日（木）　午後1時30分～

▷場所　内子町民会館　研修視聴覚室

▷対象　立候補予定者または代理者

※立候補届出用紙などは、この説明会で交付します。

《事前審査》

▷日時　29年1月6日（金）
午前8時30分～午後5時

▷場所　内子町民会館　研修視聴覚室

※説明会時に配布する用紙に所定事項を記入の上、必ず事前審査を受けてください。

【問い合わせ】
内子町選挙管理委員会
☎０８９３（４４）６１５０

●**投票所**

投票所		対象地区
第1	内子分庁	内子・上町
第2	内子東自治センター	城廻・論田
第3	大瀬小学校	和田・大瀬・川登
第4	旧程内小学校	程内
第5	村前自治会館	池田・村前
第6	立川小学校	長田・立川
第7	石畳自治会館	河内・石畳
第8	五十崎幼稚園	五十崎

投票所		対象地区
第9	内子町共生館	天神
第10	旧御祓小学校	御祓
第11	参川地区体育館	上川・中川・本川
第12	内子町林業センター	小田・平野
第13	小田小・中学校体育館	寺村・南山・立石
第14	森の里研修センター	吉野川・中田度
第15	旧田渡小学校	上田渡・臼杵

内子町社会福祉協議会
28年度職員採用試験

追加募集

●試験区分、採用予定人数など

区分	保育士	福祉活動専門員	臨時介護職員 （契約期間に定めあり）
採用予定人数	若干名	１人	１人
受験資格	保育士登録がある人、または29年３月31日までに登録見込みの人	社会福祉士登録がある人、または29年３月31日までに登録見込みの人	介護福祉士資格を取得している人、または介護職員初任者研修の修了者、または29年３月31までに取得・修了見込みの人
必要書類	保育士登録証（写）または登録見込み証明書	社会福祉士登録証（写）、または卒業見込み証明書・社会福祉士指定科目履修見込み証明書	介護福祉士登録証（写）、介護職員初任者研修の修了証（写）、登録・修了見込み証明書のいずれか
１次試験	一般教養試験・適性検査・専門試験	一般教養試験・適性検査・作文	作文・面接
２次試験	実技試験・作文・面接	集団討論・面接	なし
基本給与	15万1,500円	16万200円	14万6,700円
備考	昇給（年１回）・賞与（年２回）・各種手当あり、社会保険など加入		賞与（年２回）・各種手当あり、社会保険など加入

【共通事項】

●一次試験

・期日　１月29日（日）
・場所　内子町役場分庁

※詳しくは申込者に通知します。１月10日（火）までに通知が届かない場合は、ご連絡ください。
※二次試験は、２月19日（日）に実施を予定しています。

●採用予定日

29年４月１日（試用期間６カ月）

●応募書類

志願票、履歴書、職種別必要書類（各１通）

※志願票と履歴書は内子町社会福祉協議会、同小田支所（小田保健センター内）、内子町在宅介護支援センター社協（町民会館内）にあります。ホームページからダウンロード可。
※郵便請求の場合は、封筒の表面に「受験申込用紙請求」と朱書きし、「職員採用試験申込用紙等請求」と書いた用紙に住所・氏名・連絡先（電話番号）を記し、返信用切手120 円を同封して送付してください。

●応募受付期間

12月５日（月）～12月26日（月）

※受付は、平日の午前8時30 分～午後5時15 分です。
※郵送の場合は、封筒表面に「受験申込書在中」と朱書きしてください。（12月26日消印有効）
※詳しくは、募集要項をご確認ください。要項は内子町社会福祉協議会またはホームページでご覧になれます。

【応募先・問い合わせ】

内子町社会福祉協議会（内子分庁内）
〒７９１－３３９２　内子町内子１５１５番地
☎０８９３（４４）３８２０
www.shakyo.or.jp/hp/1486/

募集

特別養護老人ホーム神南荘の嘱託調理員を募集

●**募集人数**　調理員　1人
●**応募資格**　普通自動車免許を有する人
●**採用期日**　29年3月1日～（試用期間3カ月）
●**勤務条件など**
▽初任給　14万1400円～
※試用期間中の賃金は、日額6400円。
▽手当て　通勤・期末・住宅などの各種手当て、昇給制度あり
▽勤務日　土・日曜日、祝日勤務、早出、遅出などの交代勤務（休日希望制度あり）
●**選考方法**　面接
●**申込方法**　履歴書（市販）、運転免許証の写しを提出してください。（郵送可）
※随時受け付けます。
●**受付時間**　平日の午前9時～午後5時
【提出先・問い合わせ】
特別養護老人ホーム神南荘
〒795―0301
内子町五十崎甲881番地
☎0893（43）1901

町営住宅の入居者を募集します

●**住宅の規格・家賃など**
❶中田渡団地148号（小田地区）
▽構造　木造2階・S59建
▽面積他　67・5㎡、3DK
▽家賃（月額）　1万1900円～
※駐車場あり
❷新田団地166号（小田地区）
▽構造　木造2階・S63建
▽面積他　67・2㎡、3DK
▽家賃（月額）　1万5900円～
※駐車場あり
❸只海団地2号（五十崎地区）
▽構造　木造2階・H3建
▽面積他　64㎡、3DK
▽家賃（月額）　1万5900円～
※駐車場あり

新田団地の外観

●**入居資格**
次の(1)～(3)を満たす人
(1)現に同居し、または同居しようとする親族がある人。ただし60歳以上の人、身体に障害のある人は同居親族がいなくても単身で入居できます。
(2)現に住宅に困窮していることが明らかであること
(3)収入基準（月額所得が20万円以下）を超過しないこと。
●**共通事項**
・入居時には敷金（家賃3カ月分）が必要です。
・月額家賃は、入居者の収入により決定します。
・家賃の他に共益費が必要です。
●**申込方法**　入居者申込書を提出してください。
●**申込期限**　12月20日（火）
※申し込みがない場合は、随時募集します。
※申込書は建設デザイン課・内子分庁・小田支所にあります。
【申込・問い合わせ】
建設デザイン課　管理係
☎0893（44）6157

お知らせ

消防署からのお知らせ「暖房器具使用上の注意」

火災を起こさないために、暖房器具の安全な使い方を確認しましょう
《使用上の注意点》
▽燃えやすいものの近くで暖房器具を使用しない。
▽洗濯物を暖房器具の上で干さない。
▽給油するときは必ず火を消す。
▽コンセントのコードを束ねて使用しない。
▽寝るときや、その場を離れるときはスイッチを切る。
【問い合わせ】
内子消防署
☎0893（43）0119

放送大学4月生を募集します

放送大学では、29年度第1学期学生（4月入学）を募集しています。
放送大学はテレビなどの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。
※詳しい資料を無料で配布します。気軽にご請求ください。
●**出願期限**　3月20日（月）
【問い合わせ】
放送大学愛媛学習センター
☎089（923）8544

和紙の魅力に触れてみて「第14回和紙創作展」を開催

一枚の和紙でできた作品「アジサイ」

手すき和紙の魅力を伝える「第14回和紙創作展」を開きます。ぜひご来場ください。

●**日時**　12月10日（土）・11日（日）の午前9時～午後5時
※11日は午後4時まで
●**場所**　天神産紙工場
●**内容**　手すき和紙を使った各種商品の展示・販売やワークショップなど
【問い合わせ】
内子町商工会界隈づくり委員会
☎０８９３（４４）２１６６

愛媛県民全員で防火訓練「シェイクアウトえひめ」

誰でも・いつでも・どこでも、簡単に参加できる防災訓練「シェイクアウトえひめ」に参加しましょう。参加方法など、詳しくは愛媛県のホームページをご覧ください。

●**日時**　12月19日（月）午前11時～
●**応募方法**　専用ホームページの登録フォームに必要事項を入力してご応募ください。
●**募集期限**　12月18日（日）
【応募・問い合わせ】
愛媛県防災危機管理課
☎０８９（９１２）２３３５
www.pref.ehime.jp/bosai/shakeout28/kunren.html

「みんなで出かけまシェアキャンペーン」実施中

愛媛県は、暖房を消してみんなで一つの場所に集まる取り組み「みんなで出かけまシェアキャンペーン」を実施しています。

キャンペーン中、協力施設に行くと、割引などの特典もあります。この冬はみんなで出かけて、エコな暮らしを楽しみませんか。詳しくは愛媛県ホームページをご覧ください。

●**キャンペーン期間**　29年2月28日まで
www.pref.ehime.jp/kankyou/k-hp/theme/ondanka/dekakema-share/ikima-share.html
【問い合わせ】
愛媛県環境政策課
☎０８９（９１２）２３４９

▶協力店が掲示するポスター

愛媛と大分を満喫できる婚活イベント

「婚活フェリー＆バスツアー」

愛媛県、大分県の若者を対象に、フェリーで両県を行き来する婚活イベント「婚活フェリー＆バスツアー」を開きます。両県のグルメや観光を満喫しながら、意中の相手をゲットしよう。

❶大洲城見学と八幡浜みなっと散策
▷日時　1月22日（日）
▷申込期限　12月28日（水）
❷高崎山と由布院散策
▷日時　2月12日（日）
▷申込期限　1月23日（月）
❶❷共通事項
▷募集人数　40人
※応募者が多い場合は抽選をします。参加人数が20人に満たないときは中止になります。
▷対象　20～40歳前後の独身の人
▷参加費　5,000円
※日程など詳しくは、お問い合わせください。
【申込・問い合わせ】
おおいた出会い応援センター
☎０９７（５７４）６１２０
えひめ結婚支援センター
☎０８９（９４１）７７１１

急な寒さで血圧が上昇、高血圧の人はご注意を――

血圧とは、心臓から押し出された血液が流れるとき、血管の内側を押す圧力のことです。血圧は興奮や緊張によって上昇するほか、時間や気温によって変動します。特に冬場は、寒さの影響で血圧が大きく変動します。目が覚めて布団から出るとき、暖房が効いている室内から外へ出たときなど、急な寒さを感じると血圧が上昇します。日頃から血圧が高い人は、狭心症の発作や心筋梗塞などにつながることがあります。家の中での温度差をなくすなど、注意が必要です。

【まず生活習慣を見直すことから】

❶**減塩**　食塩の取りすぎが高血圧の大きな原因。塩分摂取は１日６㌘未満を目標にし、野菜や海藻類をしっかり取りましょう。

❷**運動**　有酸素運動は血液循環がよくなり、血圧の安定に効果があります。１日 20 ～ 30 分の運動を週に２・３回行うのを目標にしましょう。

❸**肥満解消**　バランスのいい食事や運動を心掛けて、適正な体重を維持しましょう。

❹**禁煙**　喫煙は血管を収縮させ、血液中の酸素を減少させます。禁煙外来や禁煙補助剤を活用して禁煙を成功させましょう。

❺**ストレス**　ストレスをためると血圧上昇につながります。十分な睡眠をとり、自分なりのストレス解消法を身に付けましょう。

【家でも血圧を測ろう】

血圧管理の第一歩は、自分の血圧値を知ることです。家庭での血圧測定は、血圧の変動が分かり、病院受診時の血圧よりも信頼性が高いといわれます。予防・改善のため、毎日の血圧測定を習慣にしましょう。

家庭での高血圧の基準は 135/85mmHg 以上です。朝は起床後１時間以内で排尿後・服薬前・朝食前、夜は寝る前の１日２回測定するようにしましょう。

※下記の「高血圧予防教室」で、より詳しい予防法などをご紹介します。自分のためにも、家族のためにも、ぜひご参加ください。

1 月の健康カレンダー

●母子保健～すくすく子育て～

育児相談

日	時間	場所	対象
6（金）	午前９時30分～10時30分	内子保健センター	乳幼児
10（火）		小田保健センター	
11（水）		五十崎保健センター	

乳児健診

日	受付時間	場所	対象
10（火）	午後１時～１時15分	内子保健センター	28年４・５月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
19（木）	午前9時30分～10時	内子保健センター	28年７月・８月生まれ

●成人保健

高血圧予防教室

日	時間	内容	場所
26（木）	午後１時30分～３時30分	講話「高血圧の予防」／実技「塩分測定」など	内子保健センター
２月２（木）	午前10時～午後１時	調理実習、試食など	

▷申込方法　１日のみの受講もできますので、希望する人は地域医療・健康増進センターへ、電話でお申し込みください。

▷申込期限　１月23日（月）

※詳しくはお問い合わせください。

【申込・問い合わせ】

地域医療・健康増進センター（保健センター）

☎０８９３（４４）６１５５

人のうごき（敬称略／10月6日～11月5日届出分）

うぶごえ ―♣男の子 ♥女の子―

♥井上　紗里（さり）（清志・貴美）妙見町

♣石田　浬（かいり）（太・幸子）西沖

♣正木　憩人（かいと）（克明・礼奈）平成

♣成見　光貴（こうき）（力也・久美）田ノ口

♥佐野このみ（晋平・裕美子）宮原

おくやみ

橋本トキヱ（88）内子8
尾ノ上泰子（89）内子13
山内冨三男（85）内子18第2
大野　寅一（94）内子19第2
藤川時治郎（89）岡第1
大森マサヨ（93）長田
片岡　孝士（89）熊ノ滝
髙岡　房子（87）路木
福見美澄江（83）池田
泉　フミ子（88）立川中央
宮内クニ子（95）立川中央
山岡　熊夫（91）鳥越
土居　久（96）古田
藤岡　春子（63）東沖
坪内　嘉登（103）天地
上岡キヌヱ（81）西沖
今井　利春（80）柿原
久保　安一（61）柿原
奥嶋　三文（101）柿原
上田　茂文（74）下宿間
沖野　政雄（86）福岡
本田ヒサヱ（94）小田下

まちの人口

28年11月1日現在
（　）内は前月比

・人口　17,221人　（△28）
　男性　8,258人（△8）
　女性　8,963人（△20）
・世帯数　7,228戸（△14）

まごころ銀行

皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

内子町社会福祉協議会

福見　光生様（内子19第1）
永見　仁志様（内子20）
二宮　久雄様（梅津）
上岡　寛様（川中2）
二宮　タカ子様（日之地）
高松　誠一様（上立山）
山岡　輝喜様（鳥越）
東　吉郎様（古田）
坪内　好様（天地）
今井　英雄様（柿原）
久保永ひとみ様（藤井）
伊達　正様（上川中）
（一般寄付）
だんだんチャリティー歌謡祭　様

1 月の相談日・救急当番医

年金1日相談

日時：31（火）の午前10時～午後3時30分
場所：内子町商工会　※出張相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所
☎089（925）5110

行政相談

日時：10（火）の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／林業センター
問い合わせ：総務課　☎0893（44）6150

心配ごと相談

日時：10（火）の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会　☎0893（44）3820

※1月の人権相談はお休みします。
※八幡浜急患センターは10月24日から名称が変わり、八幡浜一次救急休日・夜間診療所になりました。

小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1（日）	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894（24）1199
2（月）	ごうお小児科医院（大洲市）	0893（24）3936
3（火）	みかんこどもクリニック（八幡浜市）	0894（20）8800
8（日）	亀井小児科（大洲市）	0893（24）3757
9（月）	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894（24）1199
15（日）	おおむら小児科（内子町）	0893（44）7117
22（日）	守口小児科（八幡浜市）	0894（24）7770
29（日）	大洲ななほしクリニック	0893（25）7710

大洲喜多休日夜間急患センター

診療科目	診療時間	電話番号
内科	○平日・土曜日：午後8時～11時 ○日曜日・祝日：午前9時～午後6時	0893（23）1156

※年末年始（12月30日～1月3日）は午前9時～午後6時

救急病院

日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893（24）2151
水	加戸病院	0893（44）5500
木	日中：大洲記念病院	0893（25）2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894（22）3211
金・土・日	大洲中央病院	0893（24）4551

住人十色

第91回

茶道教室を続けて60年
人とのつながりが元気の秘訣

宮瀬　キク子さん（90）＝内子6＝

㈱茶道裏千家淡交会大洲支部に所属している宮瀬キク子さん。約60年にわたって内子町で茶道教室を開いています。

宮瀬さんが教室で大切にしていることは、茶を飲むことを楽しむだけでなく、もてなしの心を重んじる茶道の精神です。「茶室の掛け軸にしても生け花にしても、相手の好みや季節に合わせてもてなすことが大事。奥が深くて、日々新しい発見がある」と話します。探求心を持ち続ける宮瀬さんは「新しいことを覚えるのはとても楽しい」とほほえみました。

宮瀬さんは保育園などから依頼されて、園児たちに茶道を教えることもあるそうです。茶碗に描かれている花の咲く時期などを質問しながら、季節の移ろいも楽しめる茶道の魅力を伝えています。「園児たちは茶を立てるのが面白いみたいで、喜んでくれる。茶道は人を思いやることができるようになるので、魅力を知って大きくなっても続けてほしい」と語りました。

「教室に来てくれる人や園児たちと話をするのが元気の秘訣」と話す宮瀬さん。「茶道を通していろいろな人とつながりができたことに感謝。いつまでできるか分からないけれど、体が動く限りは続けたい」と目を輝かせていました。

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120（44）2130

編集幸記

▽私も八日市護国の町並みに憧れて、この町に来たことを思い出します。広報係の前は町並みの皆さんと一緒に仕事をしていたので、自然と力が入ってしまいました。町並みや住民の皆さんの素晴らしさが伝われば、うれしいです（裕）

▽中学生の職場体験を広報係で受け入れました。教える立場になるのは初めてで、とても難しかったです。教えながら気付くこともあり、いい経験になりました。将来、二人と一緒に働けたらうれしいです（健）

発行／内子町　〒795-0392 愛媛県喜多郡内子町平岡甲168番地
☎0893（44）2111（代）／fax（44）4300
http://www.town.uchiko.ehime.jp
info-uchiko@town.uchiko.ehime.jp

内子分庁　〒791-3392 内子1515番地
☎0893（44）2112（代）／fax（44）6135
小田支所　〒791-3592 小田81番地
☎0892（52）3111（代）／fax（52）2303

編集：広報うちこ編集委員会

広報うちこは環境に優しい植物油インキを使用しています。
読み終えたら綴じて保存してください。きっとまたお役に立つときがあります。
VEGETABLE OIL INK